

令和3年度

病院概要

SHINJO Hospital summary book



山形県立新庄病院

YAMAGATA PREFECTURAL SHINJO HOSPITAL

新庄病院憲章

わたくしたちは患者さんの生命を尊重し、次の三つの理念をもって、最上地域の良質な医療の確保と充実に努めます。

1. 「仁」の心をもって、
患者さんの満足と安心が得られる医療に努めます。
2. 「愛」の心をもって、
患者さんの人格を尊重し、最善の医療を尽くします。
3. 「和」の心をもって、
職員の融和と地域の医療・保健・福祉の連携を図ります。

山形県立新庄病院の理念と基本方針

理 念

「仁」、「愛」、「和」の心をもって、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供し、最上二次保健医療圏唯一の中核病院としての使命を果たします。

基本方針

- 1 患者とその家族の方々の権利を尊重した患者中心の医療を推進します。
- 2 病院機能の充実に努め、医療安全の確保、医療水準の向上に努めます。
- 3 地域医療機関と連携を強化し、役割を分担しながら、地域住民の安心を確保します。
- 4 良質な医療を提供し続けるため、経営の健全化を図ります。
- 5 将来の地域医療を担う医療人の育成に取り組んでいきます。

目 次

1. 新庄病院の概要	1
2. 所在地略図	1
3. 沿革	2
4. 平面見取図	4
5. 令和3年度新庄病院運営の基本方針	6
6. 組織機構	7
7. 職員現員表	8
8. 診療科別医師数	9
9. 臨床研修医の受入れ状況	9
10. 病棟別病床数及び看護体制	10
11. 公舎の概況	11
12. 主要医療機器整備状況	12
13. 業務の概要（令和2年度）	15
(1) 患者数	15
ア. 外来患者数	15
イ. 入院患者数	15
ウ. 診療科別外来・入院患者数	16
エ. 市町村別外来患者数	17
オ. 市町村別入院患者数	17
(2) 部門別実績	18
ア. 救急患者数	18
イ. 手術件数	18
ウ. 人工透析患者数	19
エ. リハビリテーション件数	20
オ. 分娩・死亡・剖検数	20
カ. 臨床検査件数	21
キ. 放射線撮影・治療・検査等照射回数	21
ク. 内視鏡検査数・心臓カテーテル検査数	22
ケ. 調剤件数	23
コ. 薬剤管理指導業務・抗悪性腫瘍薬調製件数	23
サ. 医療社会事業相談件数	24
シ. 退院支援・がん相談件数	24
ス. 給食件数	25
セ. 栄養指導件数	26
ソ. NST（栄養サポートチーム）加算件数	26
(3) 診療点数調	27
ア. 診療科別点数	27
イ. 診療行為別点数（外来）	28
ウ. 診療行為別点数（入院）	30
14. 経営概要	32
15. 主な経営財務分析表	33
16. 院内の会議・委員会一覧	34

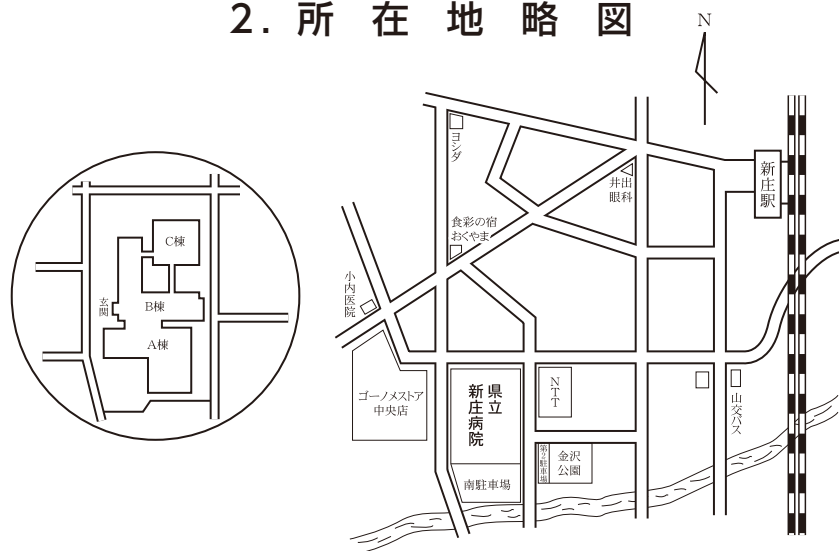
1. 新庄病院の概要

名 称	山形県立新庄病院 (へき地医療拠点病院、救急告示病院、エイズ治療拠点病院、災害拠点病院、 第二種感染症指定医療機関、臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、 日本医療機能評価機構 3rd G : Ver1.1 取得、山形県肝炎専門医療機関)
病 院 長	八 戸 茂 美
所 在 地	新庄市若葉町12番55号 (TEL 0233-22-5525)
診 療 科	内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、小児科、外科、 乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、 耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科
病 床 数	4 5 4 床 (一般4 5 2 床、感染 2 床)
敷 地 面 積	1 7, 6 9 5. 0 9 m ²
建 築 面 積	6, 6 3 3. 9 4 m ²
建 物 面 積	2 5, 5 5 4. 2 8 m ²

各学会研修施設等認定状況

日本内科学会認定医制度教育関連病院	日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設	日本形成外科学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会 N S T 稼働施設	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	日本乳癌学会関連施設
呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度関連施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院	日本食道学会全国登録認定施設
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院	日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設	日本呼吸器学会関連施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設	
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設	
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設	
日本栄養療法推進協議会認定 N S T 稼働施設	
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像認定施設	
日本消化器病学会関連施設	日本消化器内視鏡学会指導連携施設
日本脳卒中学会一次脳卒中センター認定施設	日本腹部救急医学会認定医・教育医制度認定施設

2. 所在地略図



3. 沿革

(前身)	新庄町立病院（昭和20年4月23日）
	日本医療団新庄病院（昭和21年4月1日）
	社会保険新庄病院（昭和22年5月1日）
昭和27年4月1日	社会保険協会所属の社会保険新庄病院が県へ移管、山形県立新庄病院として発足。 診療科目 内科、外科、産婦人科 病床数27床
昭和28年10月19日	現在地(新庄市から寄附)に新病院建設 病床数64床
昭和28年12月3日	診療科目変更届（内科、外科、産婦人科、整形外科、小児科）
昭和29年5月1日	基準看護特二類、基準給食承認 病床数93床
昭和29年9月22日	病床数 一般109床 伝染32床
昭和32年2月1日	病棟増築 病床数 一般223床 伝染32床
昭和32年8月31日	手術棟新築
昭和43年9月5日	コバルト治療室新築
昭和46年10月15日	放射線棟新築
昭和47年8月8日	総合病院の認可を受ける
昭和48年8月20日	伝染病棟解体 病床数 一般223床
昭和50年	へき地中核病院の指定
昭和50年7月10日	全面改築（A B棟） 病床数 一般315床 伝染24床 診療科目 内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、 産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科
昭和51年6月7日	外来棟新築
昭和57年3月5日	C T / T スキャナー購入
昭和57年6月1日	救急病院に指定
昭和59年8月31日	増築棟（C棟）新築 病床数 一般460床 I C U 4床 伝染24床
昭和60年3月20日	リニアック装置・シミュレーター位置決め装置の設置
昭和60年5月1日	診療放射線科新設
昭和60年6月1日	10病棟開設
昭和61年5月1日	8病棟開設
昭和61年10月1日	人間ドック入院コース始まる
昭和62年5月1日	11病棟開設
昭和63年12月12日	集中治療室開設
平成元年8月31日	外来棟増築
平成元年10月1日	医療電算業務本稼動
平成4年3月31日	M R I 導入
平成6年11月1日	新看護体系スタート（新看護2：1）
平成8年6月26日	エイズ治療拠点病院の指定
平成9年11月4日	災害拠点病院の指定
平成10年11月1日	新庄病院憲章の制定
平成11年3月31日	第二種感染症指定医療機関の指定
平成11年4月1日	適時適温給食スタート
平成11年5月10日	病衣導入
平成12年3月13日	病床数変更 一般464床 感染症4床
平成12年6月1日	院外処方スタート
平成13年3月31日	リニアック装置・シミュレーター位置決め装置の更新
平成13年12月25日	M R I 更新
平成15年4月1日	放射線部、検査部を設置
平成15年7月1日	病棟3・3体制となる
平成15年7月8日	病床数変更 一般463床 感染症2床
平成15年10月27日	医師法に基づく臨床研修病院の指定
平成16年1月10日	50周年記念医療講演会の実施
平成16年4月1日	地域医療室開設 E M I S（広域災害・救急医療システム）への参加

平成16年12月1日	へき地医療拠点病院の指定
平成17年4月1日	形成外科新設、診療機材部、救急部、教育研修部の設置、病歴管理室開設
平成17年10月3日	医事会計システム更新・稼動
平成17年10月11日	外来カルテ「1患者1ファイル」開始 CT更新
平成18年2月1日	自動再来受付機稼動
平成19年1月31日	地域がん診療連携拠点病院指定
平成19年3月9日	電子媒体によるレセプト請求開始
平成19年3月15日	外来棟・AB棟大規模改修完了、受変電室、非常用自家発電室新築
平成19年9月18日	がん化学療法センター運用開始
平成19年10月1日	外来処方オーダーシステム稼動開始
平成19年12月17日	(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver. 5取得 認定期間 2007.12.17~2012.12.16
平成20年8月1日	医師事務作業補助者(医療クラーク)制度導入
平成20年9月26日	X線透視撮影装置更新
平成20年11月1日	ホームページ刷新
平成20年11月18日	全身用血管撮影装置更新
平成20年12月8日	ガンマカメラ更新
平成21年3月24日	シンボルマーク決定
平成21年4月1日	がん相談支援センター開設
平成21年11月19日	正面玄関庇工事完成
平成22年3月5日	災害派遣医療チーム(DMAT)の指定
平成22年4月1日	DPC対象病院の指定
平成23年4月1日	亜急性期病棟として6病棟を開棟 一般452床 感染症2床 医学資料部を設置
平成23年9月30日	放射線情報システム(RIS)稼動
平成23年11月8日	第2CT更新
平成24年3月16日	医療画像管理システム(PACS)稼動
平成24年3月19日	MRI更新
平成25年3月25日	地域医療連携システム「もがみネット」運用開始
平成25年4月5日	(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver. 6取得 認定期間 2012.12.17~2017.12.16
平成25年12月1日	総合医療情報システム稼動
平成26年4月1日	医療情報部を設置
平成26年10月1日	6病棟を亜急性期病棟から地域包括ケア病棟に転換
平成27年4月1日	乳腺外科を標榜 7病棟を休棟(一般388床にて運用)
平成27年4月28日	リニアック装置更新
平成27年10月4日	「第一回新庄病院健康まつり」を開催
平成29年4月1日	消化器内科を標榜
平成30年3月7日	第1CT更新
平成30年4月1日	呼吸器内科を標榜
平成30年4月6日	(公財)日本医療機能評価機構 3rdG: Ver. 1.1取得 認定期間 2017.12.17~2022.12.16
平成31年4月1日	神経内科を脳神経内科に標榜診療科名変更
令和元年11月1日	6病棟を休棟(一般343床にて運用) 5病棟を地域包括ケア病棟に転換
令和元年12月1日	電子カルテ更新
令和2年4月1日	血液内科を標榜 感染管理室を設置
令和3年3月31日	全身用血管撮影装置更新
令和3年4月1日	新病院整備課を設置

4. 平面見取図

(C棟)

11病棟

病室	ルクリーム	機械室・倉庫	浴室・洗面所	病室
	便所			
	倉庫・エレベーター			
ナースステーション	HCU	デイルーム C F		

(B棟)

最上階

専用エレベーター	倉庫	仮眠室
倉庫	倉庫	休憩室
		更衣室
	便所	倉庫
	シャワー室	倉庫
	倉庫	倉庫

6 F

10病棟

病室	感染症室	機械室・倉庫	浴室・洗面所	病室
	便所			
	特浴・エレベーター			
ナースステーション	HCU	デイルーム C F		

7病棟
(休棟)

病室	浴室	病室
	洗濯室	
	洗面所	
HCU	ナースステーション	C F

(A棟)

C F	デイルーム	病室
相談室	ナースステーション	
病室	便所	
	洗面所	
	洗濯室	
	浴室	特室

6病棟
(休棟)

5 F

8病棟

病室	ドック室	人間	浴室・洗面所	病室
	便所			
	浴室・エレベーター			
ナースステーション	HCU	デイルーム C F		

5病棟

病室	浴室	病室
	洗濯室	
	洗面所	
HCU	ナースステーション	C F

C F	デイルーム	病室
病室	ナースステーション	
	便所	
	洗面所	
	洗濯室	特室
ギブス室兼倉庫		

3病棟

4 F

人工透析室	会議室
機械	言語聴覚療法室
便所・エレベーター	
リハビリ	

2病棟

病室	浴室	特室
	洗濯室	
	洗面所	
新生児室	ナースステーション	病室
	授乳指導室	
C F	沐浴室	倉庫
面談室	陣痛室	分娩室

C F	デイルーム	プレイルーム
沐浴室		乳幼児室
病室	ナースステーション	病室
	便所	
	洗面所	
	洗濯室	特室
	浴室	

1病棟

3 F

検査室	ICU	手術室							
	作業室								
	エレベーター								
中央採血室	機械室	技師室							
中央材料室									
手術室									
栄養相談室	当直室	皮膚科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	外科	待合室			
形成外科	処置室	産婦人科	泌尿器科	処置室	小児科	外来師長室	授乳室	入院支援室	当直師長室
病歴室	電算室	医局							
理髪	倉庫	医局							
手術部控室	外来CF	図書室	医局						
化学療法室	宿直室	宿直室							

2 F

レントゲン	検査室	カルテ庫	食堂	ME室	薬局事務室	栄養管理室	洗濯室	電算室	中央監視室	解剖室		
	回復室		薬局	薬品庫	薬品庫	受付	医事経営相談課	カルテ庫	総務課	リネン室	リネン類作業室	電安室
	便所・エレベーター	平衡機能室										
レントゲン	内視鏡室		院外処方受付	待合ホール		会議室	事務室	院長室				
第2処置室	整形外科	眼科	第3処置室	前室	売店	(正面玄関)	当直室	応接室	副院長室			
第1処置室	内科	脳神経内科	消化器内科	循環器内科	呼吸器内科	血液内科	物品庫		看護部長室			

1 F

機械室	自家発電
便所・エレベーター	電気室
レントゲン	

B F

機械室	機械室	
ボイラー		
受電室		
カルテ庫		標本室
工作室	浴室	カルテ庫

5. 令和3年度新庄病院運営の基本方針

県立新庄病院が所在する最上地域は、人口の減少、絶対的な医師不足など、医療を取り巻く環境が県下で最も厳しく、また一般診療所が減少しつつあり、分娩取扱い医療施設が当院のほかにはない等の事情から、夜間・休日も含め最上管内の患者が当院に集中している状況にあります。

また、新型コロナウイルス感染症については、第二種感染症指定医療機関及び重点医療機関として、感染対策の充実及び適切な医療の提供が求められております。

このような中、当院は、「仁・愛・和」を基本理念とする病院憲章の下、最上二次保健医療圏唯一の基幹病院として、医療が高度化、多様化する中で、老朽化した施設・設備の修繕や保守点検等により病院機能を維持しながら、地域の医療需要に応える努力を積み重ねてまいりました。

令和3年度は、引き続き地域住民に安全、安心、信頼の医療を提供するとともに、新病院への円滑な移行に向けて、3つの柱の重点項目を中心に施策を展開していきます。

○ 使命（ミッション）

最上地域唯一の基幹病院として地域住民に安全、安心、信頼の医療を提供します。

○ 目指す姿（ビジョン）

将来にわたり持続可能な病院運営を目指すとともに、病院機能の強化を図るため、移転改築を推進します。

○ 取組みの柱と重点的取組み

1 県立病院の役割を踏まえた医療の提供

(1) 安全、安心、信頼の医療の提供

インシデント等の原因分析と発生防止策の実施による医療安全対策の推進、新型コロナウイルス感染症などの感染症対策の充実・医療提供の強化、多様な職種が高度に連携するチーム医療の推進、5S運動の推進による快適で安全な病院づくり、入退院支援推進による患者サービスの強化

(2) 地域、大学及び医療機関等との連携の推進

ホームページ・広報誌での情報発信、もがみネットをはじめとした医療情報ネットワークの活用推進、域医療部情報紙「んだじゅ通信」の発行、地域包括ケア病棟の活用定着、高度専門医療に係る大学病院との連携、管内の公立病院・診療所への応援医師の派遣

(3) 病院の改築整備

新病院運用ワーキンググループ等による検討、運用計画・業務フローの作成、新病院開設に向けたプロジェクトチーム等の組織の強化

(4) 働き方改革への対応

時間外勤務の縮減及び年休取得の促進等によるワーク・ライフ・バランスの推進、医師労働時間短縮計画の策定に向けた検討

(5) 県立大学との連携

新たな病院食の献立導入、実務実習及びインターンシップの受入れ

2 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 適切な医療の提供

ワクチン接種・PCR検査等の新型コロナウイルス感染症対策の強化、COVID-19発生時における診療継続計画に基づく適切な医療の提供及び通常診療との両立

(2) 感染防止対策の徹底

職員の感染防止対策の徹底、面会制限の実施、外来患者をはじめとした院内出入り者への検温実施

3 安定的な運営基盤を実現する経営の改善

(1) 職員総参加による安定した収益の確保

BSCチェック体制強化によるPDCAサイクルの徹底、診療報酬改定への的確で迅速な対応、DPCコーディングの適正化・加算の取得漏れを含めたレセプトチェックの強化等による診療報酬の適正な請求、紹介率・逆紹介率向上のための対策の強化、未収金の発生防止・回収及び法的手段の実施

(2) 医業費用の効率化

業務の見直しや平準化による効率化、経営コンサルタントの活用、医薬品・診療材料の価格交渉等の強化、後発医薬品の使用拡大、光熱費等の節減

(3) 人材の確保

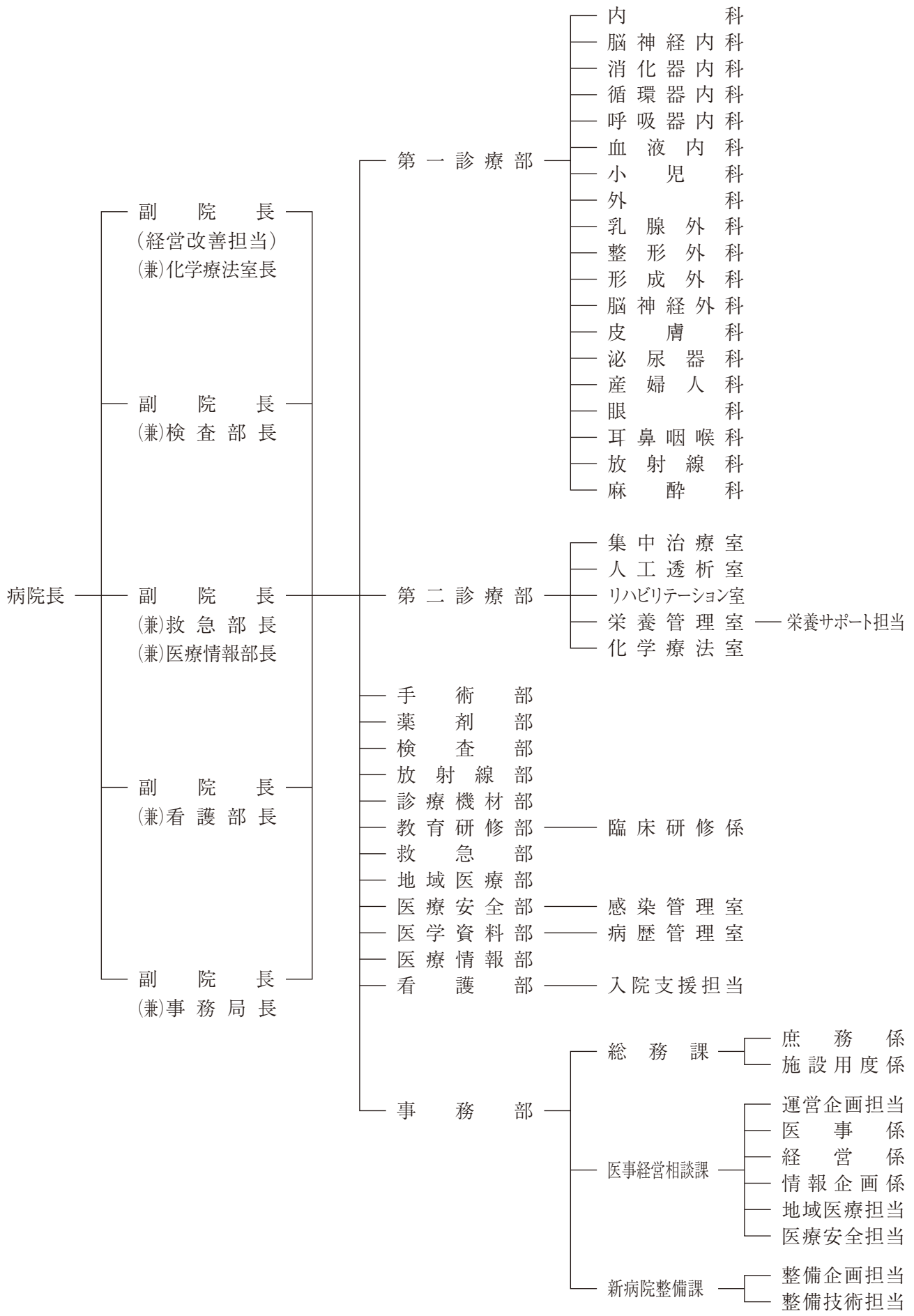
(医師) 大学医局等との連携強化、研修医の確保・育成、広域連携臨床実習の受入れ、総合診療医育成に向けた専門研修医の募集、SNS等を活用した情報発信

(看護師等) 地元出身学生の実務実習受入れ

(4) 人材の育成

院内研修会の充実強化、専門資格取得・維持の推進、院内表彰制度の実施

6. 組 織 機 構



7. 職 員 現 員 表

令和3.5.1現在

所 属 ・ 職 名		技 術	事 務	技 労	
医 師		46			
研 修 医		2			
第 二 診 療 部	リハビリテーション室	理 学 療 法 士	10		
		作 業 療 法 士	5		
		言 語 聴 覚 士	3		
		小 計	18		
	栄 養 管 理 室	管 理 栄 養 士	5		
		調 理 技 能 員		14	
		小 計	5	14	
計		23		14	
診 療 機 材 部	臨 床 工 学 技 士	4			
薬 剤 部	薬 剤 師	14			
検 査 部	臨 床 検 査 技 師	21			
放 射 線 部	診 療 放 射 線 技 師	13			
看 護 部		看 護 師	272		
		視 能 訓 練 士	1		
		計	273		
事 務 部	総 務 課 事務局長、事務局次 長を含む	事 務 職 員		12	
		行 政 技 能 員		1	
		技 術 技 能 員		2	
		施 設 技 能 員		4	
		小 計		12	7
	医 事 経 営 相 談 課	事 務 職 員		9	
		診 療 情 報 管 理 士		4	
		看 護 師	5		
		社 会 福 祉 士		2	
		小 計	5	15	
新 病 院 整 備 課	事 務 職 員	4	4		
計		9	31	7	
合 計		405	31	21	
総 計		457			

8. 診療科別医師数

令和3.5.1現在

診療科	常勤	非常勤	計	備考
内科	15	5	20	
脳神経内科	-	3	3	
消化器内科	兼(6)	1	1 兼(6)	内科(兼)
循環器内科	兼(4)	2	2 兼(4)	内科(兼)
呼吸器内科	兼(4)	2	2 兼(4)	内科(兼)
血液内科	兼(1)	2	2 兼(1)	内科(兼)
小児科	3	9	12	
外科	7	5	12	
乳腺外科	兼(7)	-	兼(7)	外科(兼)
整形外科	4	3	7	
形成外科	2	2	4	
脳神経外科	2	-	2	
皮膚科	1	2	3	
泌尿器科	2	2	4	
産婦人科	3	9	12	
眼科	1	2	3	
耳鼻咽喉科	3	4	7	
放射線科	2	3	5	
麻酔科	1	6	7	
人工透析室	兼(3)	1 兼(2)	1 兼(5)	循環器内科(兼)
リハビリテーション室	兼(1)	-	兼(1)	脳神経外科(兼)
病理科	-	4	4	
初期研修医	-	2	2	2年次
計	46	69	115	

9. 臨床研修医の受入れ状況

(単位：人)

研修区分	令和2年度	令和3年度
初年次	1	0
2年次	1	2
計	2	2

10. 病棟別病床数及び看護体制

令和3.5.1現在

区分	診療科		病床数			看護職員数	夜勤体制	
	診療科名	科別床数	部屋別			看護師・ 准看護師	準夜勤	深夜勤
			種別	室数	病床数			
1 病棟	小児科	12	1床室	8	8	25	3	3
	内科（消化器）	32	4床室	2	8			
	眼科	2	6床室	5	30			
	計	46	(計)	15	46			
2 病棟	産婦人科	25	1床室	7	7	25	3	3
	内科（消化器：女性）	18	4床室	6	24			
			6床室	2	12			
	計	43	(計)	15	43			
3 病棟	整形外科	40	1床室	6	6	25	3	3
	泌尿器科	8	4床室	5	20			
			5床室	1	5			
	計	48	6床室	3	18			
	(計)		15	49				
5 病棟	(地域包括)		1床室	6	6	17	2	2
	内科	18	2床室	2	4			
	整形外科	18	3床室	2	6			
	共通	4	4床室	6	24			
計	40	(計)	16	40				
6 病棟	休 棟	0	1床室	5	5			
			4床室	6	24			
			5床室	1	5			
	計	0	6床室	3	18			
	(計)		15	52				
7 病棟	休 棟	0	1床室	4	4			
			2床室	1	2			
			4床室	6	24			
	計	0	5床室	1	5			
	(計)		3	18				
	(計)		15	53				
8 病棟	内科（消化器）	8	1床室	4	4	25	3	3
	外科	24	2床室	2	4			
	耳鼻咽喉科	12	4床室	1	4			
	形成外科	4	6床室	7	42			
	緩和ケア	4	ドック室	2	2			
	人間ドック	2						
	計	54	(計)	16	56			
10 病棟	脳神経外科	29	1床室	6	6	25	3	3
	内科（呼吸器）	23	2床室	4	8			
	感染症室	2	4床室	1	4			
	計	54	6床室	6	36			
	(計)		17	54				
11 病棟	内科（循環器・腎臓・血液）	43	1床室	4	4	25	3	3
	(呼吸器)	11	2床室	2	4			
			4床室	1	4			
			6床室	7	42			
			無菌室	1	2			
	計	54	(計)	15	56			
集中治療室		4			5	17	2	2
人工透析室						13		
手術室						18		
外来						48 (視能訓練士含)		
看護部長室						10 (事故要員5含)		
計		病床数	室数		許可病床数	273	22	22
		343	139		454			

11. 公 舎 の 概 況

令和3.5.1現在

所 在 地	敷地面積	戸 数	規 模	建設年月日	備 考
新庄市下金沢町2-5	2,433.15	1戸 (21号)	木造2階建 137.69㎡	S54.12.3	
		〃 (22号)	〃 137.69㎡		
新庄市下金沢町2-8		〃 (26号)	〃 137.69㎡	S56.12.1	
新庄市小田島町3-44	1,480.82	医師アパート (6号) 1棟	鉄筋コンクリート 4階建 延1,836.16㎡ 3LDK(9戸) 2LDK(6戸)	H23.7.25	3LDK 89.69㎡ 2LDK 68.25㎡
新庄市松本55-3	2,580.07	医師アパート (3号) 1棟	鉄筋コンクリート 4階建 3DK (16戸)1,277.76㎡	S59.10.31	一戸当り 79.86㎡
新庄市東谷地田町4-3	3,305.00	看護師アパート (4号) 1棟	鉄筋コンクリート 4階建 1DK (32戸)1,428.60㎡	S62.3.30	一戸当り 44.64㎡
		医師等職員 アパート (5号) 1棟	鉄筋コンクリート 4階建 1LDK(8戸) 3DK(12戸) 1,458.48㎡	S63.1.18	

12. 主要医療機器整備状況

令和3.5.1現在

部門別	品名	規格	数量	購入年度
第一診療部	人工呼吸器	フィリップス V60 外	10	H17 外
	超音波診断装置(泌尿器科、産婦人科、眼科、小児科、外科、麻酔科、形成外科)	GE Voluson P8 外	11	20・21・22・23・26・28・29・30
	眼球運動検査機器	第一医科 yVOG	1	R2
	ネブライザーユニット	第一医科 華	3	12・15・21
	誘発反応装置	リオンAuderaER-05	1	18
	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスGIF-H290 外	9	16・18・21・22・25・27・30・31
	気管支ビデオスコープ	オリンパスBF-P290 外	6	H18 外
	十二指腸ビデオスコープ	オリンパスJF-260V	2	18・28
	大腸ビデオスコープ	オリンパスPCF-H290ZI	4	18・21・30
	電子内視鏡システム	オリンパスLUCERA CV-290L 外	4	18・21・23・30
	胆道ファイバースコープ	オリンパスCHF-P20Q	1	17
	超音波ガストロビデオスコープ	オリンパスGF-UM2000	1	24
	治療用レーザー装置	ルミナス30C	1	17
	レーザー光凝固装置	エレックスINTERGREPRO-YT	1	26
	自動視野計	ハーグストレイト社 OCTOPUS301	1	19
	眼底カメラ	トプコンTRC-50DX	1	20
	眼底検査装置	トプコン 3DOCT-1 Maestro	1	29
	スリットランプ+3CCDカメラ+ファイリングシステム	トプコン SL-D7 DC-3 外	1	21
消化器内視鏡高周波手術装置	エルベVIO50C	1	25	
集中治療室	人工呼吸器	Servo I Uni EX 外	4	21・22・25・29
	多項目全自動血球計数装置	シスメックスKX-21N	1	24
	ICU患者監視システム	フィリップスM3150	1	22
	除細動器	フィリップス ハートスタートXL+P	1	25
手術部	手術用顕微鏡	ライカ M525 OH4 外	3	17・26・31
	全身麻酔装置	ドレーゲル Pereseus A500	5	16・17・24・25・30
	マイクロターゼ	日本商事 OT-110M	1	10
	硬性尿管鏡	リチャードウルフ8 9.8Fr	1	10
	超音波白内障手術装置	日本アルコン インフィニティ	1	23
	腹腔鏡外科手術システム	オリンパスOTV-S190 外	3	11・13・25
	外科カメラシステム	オリンパスVISERAカメラシステム	1	17
	バイポーラ凝固切開装置	J&JマリスCMC-V イリゲーター2000X	1	24
	超音波凝固切開装置	J&J ハーモニックジェネレーター GEN11	2	28
	電気メス	日本メディカルネクスト60-8005-002	6	12・14・22・25・27

部門別	品名	規格	数量	購入年度
手術部	開頭術用ドリルシステム	エースクラップハイランGA530	1	14
	外科用X線透視装置	GEヘルスケアジャパンOEC Brivo Essential 外	2	24・30
	生体情報監視モニター	フィリップス Mx700 外	5	21・22・23・27・R2
	電動式ドリルシステム	日本メドトロニック マイダスレックスレジェンドシステム	2	21・25
	超音波双方向血流計	Hadeco DVM-4300	1	21
	骨手術用ドライバー	ジンマーバイオメット スマートドライバー DUO 外	2	21・27
	ホルミニウムヤグレーザー	ルミナス パーサバルスセレクト80:100	1	26
	関節鏡視下手術セット	Arthrex Japan Synergy HD3	1	26
中央材料室	高圧蒸気滅菌装置	サクラ NSS-012 外	3	7・11・16
	E O ガス滅菌器	3Mヘルスケア 8XL	1	13
	超音波洗浄装置	シャープ MU-1100	1	15
	プラズマガス滅菌器	ジョンソンエンドジョンソン ステラッドNX	1	24
	ウォッシュャーデイスインフェクター	ゲティンゲ・ジャパン 46-4ES	1	22
人工透析室	個人用HDF患者監視装置	日機装 DBG-03	1	21
	多用途透析用監視装置	日機装 DCS-100NX-E 他	19	23・25・R2
	逆浸透法水処理装置	日機装 MRC-DC-nano40P	1	25
	Dドライ溶解装置	日機装 DAD-50NX-ST	1	25
	多人数用透析液自動供給装置	日機装 DAD-30NX	1	25
	血液浄化装置	旭化成メディカル ACH-Σ	1	25
	生体情報モニター	フクダ電子 DS-7740	1	25
薬局	全自動散薬分包機	(株)トーショー io9090win	1	21
	全自動錠剤分包機	(株)トーショー Xana-2501	1	21
	散薬監査システム	(株)トーショー SW-KU	1	30
検査部	全自動尿分析装置	アークレイ オーションマックスAX-4030	1	23
	全自動血球分析装置	シスメックス XN-3000	1	28
	全自動血液凝固測定装置	積水メディカル コアプレスタ2000	1	23
	糖尿病検査システム	A&T GA08II 東ソーHLC-723	1	23
	全自動輸血検査装置	オーソ AutoVue Innova	1	R2
	血液培養自動分析装置	ビオメリュー バクテアラート3D	1	R2
	自動遺伝子解析装置	ベックマン・コールター Genexpert	1	R2
	誘発筋電計	日本光電 MEB-2306	1	31
	自動分析装置	東芝 FX-8 ロシュ コバス8000	2	27・29
	呼吸機能測定装置	CHESTAC-8900 D型	1	25
	血液ガス分析装置	ラジオメーター ABL825GL	1	24

部門別	品名	規格	数量	購入年度
検査部	心電計（解析機能付き）	フクダ電子 FCP-8800 外	3	24・27・R2
	超音波診断装置	東芝 Aplio500 Platinum 外	3	24・28・31
	凍結組織切片作製装置	ライカマイクロシステムズ クリオスタットCM1950	1	21
	包埋システム	サクラ精機 ティッシュ・テックVIP6	1	22
	高速・高解像度バーチャルスライドスキャナ	浜松フotonクス Nano Zoomer2.0HT	1	22
放射線部	リニアック装置	VARIAN CLINAC-iX	1	26
	放射線治療計画装置	VARIAN Eclipse	1	26
	一般撮影用X線装置	富士フィルム CALNEO C1717SQ	2	26
	移動型X線撮影装置	富士フィルム CALNEO Go PLUS 外	3	17・24・30
	X線骨密度測定装置	ホロジック社 DISCOVERY	1	25
	マルチスライスCT装置（第1CT）	SIEMENS SOMATOM Definition Edge	1	29
	マルチスライスCT装置（第2CT）	東芝 Aquilion RX	1	23
	磁気共鳴断層撮影装置	SIEMENS MAGNETOM-Avanto	1	23
	乳房X線撮影装置	富士フィルム AMULET Innovality	1	30
	全身用血管撮影装置	フィリップス Azurion7 B20	1	R2
	ガンマカメラシステム	シーメンス旭メディックスベクトCTシステム[SymbiaT]	1	20
	X線透視撮影装置	日立メディコ「EXAVISTA」外	3	20・23・R2

13. 業務の概要（令和2年度）

(1) 患者数

ア. 外来患者数

（単位：人、回、％）

年度 \ 項目	患者延数	一日平均患者数	新患者数	一日平均新患者数	平均通院回数
平成30年度	(99.5) 185,443	(99.5) 757	(100.4) 19,017	(100.4) 78	(99.1) 9.8
令和元年度	(97.8) 181,404	(98.6) 747	(89.1) 16,951	(89.9) 70	(109.7) 10.7
令和2年度	(89.2) 161,733	(88.8) 663	(68.7) 11,645	(68.4) 48	(129.8) 13.9

（注）1. （ ）内は、前年度対比（％）を示す。

$$2. \text{平均通院回数} = \frac{\text{患者延数}}{\text{新患者数}}$$

イ. 入院患者数

（単位：人、回、％）

年度 \ 項目	患者延数	一日平均患者数	新患者数	退院患者数	平均在院日数	病床利用率
平成30年度	(96.4) 111,219	(96.4) 305	(98.7) 6,692	(98.2) 6,684	(97.8) 15.6	78.9
令和元年度	(97.3) 108,198	(97.0) 296	(100.7) 6,739	(101.1) 6,755	(96.2) 15.0	80.5
令和2年度	(87.1) 94,263	(87.4) 258	(89.2) 6,011	(89.0) 6,011	(97.6) 14.7	75.7

（注）1. （ ）内は、前年度対比（％）を示す。

$$2. \text{患者延数} = \text{在院患者数} + \text{退院患者数}$$

$$3. \text{平均在院日数} = \frac{\text{在院患者数}}{(\text{新患者数} + \text{退院患者数}) \times 0.5}$$

$$4. \text{病床利用率} = \frac{\text{患者延数}}{\text{病床数} \times \text{年間日数}}$$

ウ. 診療科別外来・入院患者数

(単位:人、%)

診療科名	外来・入院別 年度 項目	外 来				入 院							
		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		患者延数	構成比	患者延数	構成比	患者延数	構成比	患者延数	構成比	患者延数	構成比	患者延数	構成比
内 科	(101.7) 57,327	30.9	(94.4) 54,129	29.8	(90.0) 48,691	30.1	(97.8) 51,519	46.3	(107.4) 55,349	51.2	(83.1) 45,983	48.8	
脳 神 経 内 科	(100.9) 2,603	1.4	(108.7) 2,829	1.6	(99.7) 2,820	1.7	-	-	-	-	-	-	
小 児 科	(93.7) 8,299	4.5	(93.5) 7,758	4.3	(58.9) 4,572	2.8	(103.5) 3,323	3.0	(79.0) 2,626	2.4	(63.6) 1,669	1.8	
外 科	(103.4) 10,306	5.6	(98.5) 10,155	5.6	(94.8) 9,630	6.0	(88.0) 8,760	7.9	(93.7) 8,210	7.6	(93.1) 7,647	8.1	
整 形 外 科	(100.5) 21,755	11.7	(97.1) 21,129	11.6	(91.6) 19,355	12.0	(94.0) 19,686	17.7	(88.9) 17,504	16.2	(94.0) 16,459	17.5	
脳 神 経 外 科	(98.5) 9,133	4.9	(100.0) 9,130	5.0	(96.6) 8,816	5.5	(103.8) 10,983	9.9	(70.1) 7,703	7.1	(92.3) 7,109	7.5	
皮 膚 科	(106.2) 10,928	5.9	(95.4) 10,420	5.7	(83.8) 8,729	5.4	-	-	-	-	-	-	
泌 尿 器 科	(97.0) 19,751	10.7	(103.4) 20,425	11.3	(98.2) 20,051	12.4	(96.1) 2,835	2.5	(109.9) 3,117	2.9	(127.3) 3,967	4.2	
産 婦 人 科	(94.7) 15,310	8.3	(96.0) 14,701	8.1	(79.9) 11,742	7.3	(88.6) 8,305	7.5	(98.9) 8,210	7.6	(84.3) 6,923	7.3	
眼 科	(93.1) 8,481	4.6	(97.7) 8,287	4.6	(87.5) 7,252	4.5	(110.2) 542	0.5	(113.1) 613	0.6	(80.1) 491	0.5	
耳 鼻 咽 喉 科	(94.9) 13,675	7.4	(104.5) 14,286	7.9	(91.6) 13,080	8.1	(104.8) 4,015	3.6	(86.0) 3,451	3.2	(103.0) 3,554	3.8	
放 射 線 科	(132.4) 2,760	1.5	(112.9) 3,116	1.7	(89.4) 2,786	1.7	-	-	-	-	-	-	
形 成 外 科	(97.6) 5,115	2.8	(98.5) 5,037	2.8	(83.6) 4,209	2.6	(97.1) 1,251	1.1	(113.1) 1,415	1.3	(37.8) 535	0.6	
合 計	(99.5) 185,443	100.0	(97.8) 181,404	100.0	(89.2) 161,733	100.0	(96.4) 111,219	100.0	(97.3) 108,198	100.0	(87.1) 94,263	100.0	
1 日 平 均	(99.5) 757	-	(98.6) 747	-	(88.8) 663	-	(96.4) 305	-	(97.0) 296	-	(87.4) 258	-	
新 患 者 数	(100.4) 19,017	-	(89.1) 16,951	-	(68.7) 11,645	-	(98.7) 6,692	-	(100.7) 6,739	-	(89.2) 6,011	-	
診 療 実 日 数	245	-	243	-	244	-	365	-	366	-	365	-	

(注) 1. ()内は、前年度対比(%)を示す。

2. 入院延患者数 = 在院患者数 + 退院患者数

エ. 市町村別外来患者数

(単位:人、%)

居住地別 年度	居 住 地												
	新 庄	金 山	最 上	舟 形	真室川	大 蔵	鮭 川	戸 沢	尾花沢	大石田	県 内	県 外	計
平成30年度	95,343 (51.4)	13,154 (7.1)	13,761 (7.4)	13,181 (7.1)	14,364 (7.7)	6,133 (3.3)	9,806 (5.3)	10,959 (5.9)	4,524 (2.4)	831 (0.4)	1,582 (0.9)	1,805 (1.0)	185,443 (100.0)
令和元年度	93,258 (51.4)	13,036 (7.2)	13,435 (7.4)	12,417 (6.8)	14,213 (7.8)	6,136 (3.4)	9,347 (5.2)	10,686 (5.9)	4,523 (2.5)	1,000 (0.6)	1,512 (0.8)	1,841 (1.0)	181,404 (100.0)
令和2年度	83,515 (51.6)	11,119 (6.9)	11,699 (7.2)	11,175 (6.9)	13,042 (8.1)	5,219 (3.2)	8,653 (5.4)	10,122 (6.3)	4,036 (2.5)	957 (0.6)	1,114 (0.7)	1,082 (0.7)	161,733 (100.0)

(注) () 内は、構成比 (%) である。

オ. 市町村別入院患者数

(単位:人、%)

居住地別 年度	居 住 地													退 院
	新 庄	金 山	最 上	舟 形	真室川	大 蔵	鮭 川	戸 沢	尾花沢	大石田	県 内	県 外	計	
平成30年度	47,528 (45.5)	7,343 (7.0)	8,354 (8.0)	7,660 (7.3)	8,456 (8.1)	4,320 (4.1)	5,940 (5.7)	8,119 (7.8)	2,932 (2.8)	698 (0.7)	1,188 (1.1)	1,997 (1.9)	104,535 (100.0)	6,684
令和元年度	46,379 (45.7)	7,207 (7.1)	8,825 (8.7)	7,726 (7.6)	8,600 (8.5)	4,111 (4.1)	5,073 (5.0)	7,320 (7.2)	2,804 (2.8)	892 (0.9)	1,056 (1.0)	1,450 (1.4)	101,443 (100.0)	6,755
令和2年度	40,910 (46.4)	6,070 (6.9)	6,304 (7.1)	7,724 (8.8)	8,506 (9.6)	3,723 (4.2)	4,351 (4.9)	6,001 (6.8)	2,217 (2.5)	423 (0.5)	1,061 (1.2)	962 (1.1)	88,252 (100.0)	6,011

(注) 1. () 内は、構成比 (%) である。

2. 入院患者数 = 在院患者数である。従って、別掲の患者延数 (= 在院患者数 + 退院患者数) と一致しない。

(※退院患者の市町村別統計ができないため。)

(2) 部門別実績

ア. 救急患者数

(単位:人、%)

年度 \ 科名	内科	脳神経内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	合計
平成30年度	(98.7) 5,331	(100.0) 3	(98.2) 1,392	(127.4) 502	(98.1) 1,213	(101.4) 652	(103.6) 689	(89.8) 309	(102.5) 374	(91.1) 338	(67.3) 115	(111.1) 621	(-) 1	(99.8) 11,540
令和元年度	(90.4) 4,820	(500.0) 15	(90.2) 1,255	(101.6) 510	(95.3) 1,156	(88.5) 577	(83.6) 576	(119.4) 369	(110.2) 412	(96.2) 325	(97.4) 112	(115.9) 720	(-) 0	(94.0) 10,847
令和2年度	(74.5) 3,593	(20.0) 3	(37.3) 468	(91.8) 468	(89.4) 1,034	(76.3) 440	(104.5) 602	(77.0) 284	(106.1) 437	(71.7) 233	(66.1) 74	(68.2) 491	(-) 0	(74.9) 8,127

(注) () 内は、前年度対比 (%) を示す。

イ. 手術件数

(単位:人、%)

年度 \ 科名	内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	内視鏡処置	合計
平成30年度	(0.0) 0	(0.0) 0	(105.6) 546	(120.0) 522	(92.8) 297	(89.1) 41	(0.0) 0	(78.7) 199	(89.8) 184	(108.9) 184	(91.6) 163	(110.5) 535	(102.4) 2,671
令和元年度	(0.0) 0	(-) 1	(87.4) 477	(95.6) 499	(105.1) 312	(85.4) 35	(0.0) 0	(110.1) 219	(102.7) 189	(107.6) 198	(110.4) 180	(104.9) 561	(100.0) 2,671
令和2年度	(0.0) 0	(-) 0	(91.0) 434	(97.6) 487	(88.8) 277	(205.7) 72	(0.0) 0	(98.2) 215	(86.8) 164	(82.3) 163	(91.7) 165	(95.7) 537	(94.1) 2,514

(注) () 内は、前年度対比 (%) を示す。

ウ. 人工透析患者数

(単位:人、%)

年度	月 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
	入外別													
平成 30 年度	入 院	151	163	161	65	80	73	105	132	116	62	116	80	1,304
	外 来	771	842	803	856	891	799	853	835	830	899	830	857	10,066
	合 計	(100.8) 922	(98.0) 1,005	(99.1) 964	(97.4) 921	(102.9) 971	(100.8) 872	(109.6) 958	(111.8) 967	(107.0) 946	(104.1) 961	(109.7) 946	(97.2) 937	(103.0) 11,370
令和 元 年度	入 院	55	79	74	108	89	67	69	69	88	106	82	128	1,014
	外 来	860	892	832	894	868	791	880	867	849	882	801	816	10,232
	合 計	(99.2) 915	(96.6) 971	(94.0) 906	(108.8) 1,002	(98.6) 957	(98.4) 858	(99.1) 949	(96.8) 936	(99.0) 937	(102.8) 988	(93.3) 883	(100.7) 944	(98.9) 11,246
令和 2 年度	入 院	64	68	88	105	93	92	134	89	117	137	144	146	1,277
	外 来	842	857	830	870	830	833	859	781	874	778	715	817	9,886
	合 計	(99.0) 906	(95.3) 925	(101.3) 918	(97.3) 975	(96.4) 923	(107.8) 925	(104.6) 993	(92.9) 870	(105.8) 991	(92.6) 915	(97.3) 859	(102.0) 963	(99.3) 11,163

(注) 1. 入院は入院患者数+退院患者数、外来は延患者数である。

2. ()内は、前年度対比(%)を示す。

エ. リハビリテーション件数

(単位：件、%)

区分 年度	理 学 療 法							作 業 療 法						言語聴覚療法				退院時 リハ 指導	合 計
	心大血管	脳血管	廃用症候群	運動器	呼吸器	その他	合 計	脳血管	廃用症候群	運動器	呼吸器	その他	合 計	脳血管	廃用症候群	その他	合 計		
平成30年度	(118.2) 2,621	(96.2) 5,228	(94.5) 4,116	(104.2) 13,714	(60.4) 162	(118.2) 2,813	(103.0) 28,654	(104.7) 4,814	(104.4) 2,676	(86.8) 6,093	(53.7) 94	(88.3) 731	(94.9) 14,408	(93.7) 3,794	(71.4) 2,005	(52.8) 310	(82.0) 6,109	(119.5) 410	(97.5) 49,171
令和元年度	(90.9) 2,383	(77.4) 4,045	(113.5) 4,673	(82.6) 11,328	(81.5) 132	(82.7) 2,326	(86.9) 24,887	(75.5) 3,635	(107.7) 2,882	(86.1) 5,244	(35.1) 33	(99.0) 724	(86.9) 12,518	(86.6) 3,286	(105.7) 2,120	(141.3) 438	(95.7) 5,844	(79.5) 326	(88.0) 43,249
令和2年度	(112.2) 2,673	(120.5) 4,876	(72.5) 3,390	(91.0) 10,307	(219.7) 290	(88.6) 2,060	(94.8) 23,596	(117.6) 4,275	(55.4) 1,598	(104.0) 5,453	(593.9) 196	(92.7) 671	(97.4) 12,193	(120.0) 3,942	(70.0) 1,485	(185.2) 811	(106.7) 6,238	(81.3) 265	(97.2) 42,027

(注) () 内は、前年度対比 (%) を示す。

オ. 分娩・死亡・剖検数

(単位：人、%)

年度	分 娩 数	死 亡 数	死 亡 率	剖 検 数	剖 検 率
平成30年度	(93.3) 430	(74.1) 309	4.6	2	0.6
令和元年度	(88.8) 382	(129.4) 400	5.9	2	0.5
令和2年度	(82.2) 314	(84.0) 336	5.6	0	0.0

(注) 1. () 内は、前年度対比 (%) を示す。

$$2. \text{死亡率} = \frac{\text{院内死亡率}}{\text{退院患者数}} \times 100 \quad \text{剖検数} = \frac{\text{剖検数}}{\text{死亡数}} \times 100$$

カ. 臨床検査件数

(単位：件、%)

年度 \ 項目	一般検査	細菌検査	生化学	生理検査	血液検査	病理検査	輸血検査	合計
平成30年度	(109.2) 34,055	(87.3) 18,217	(100.5) 811,962	(108.2) 24,398	(103.2) 160,135	(110.3) 16,247	(103.8) 12,163	(101.2) 1,077,177
令和元年度	(102.6) 34,940	(118.0) 21,493	(106.4) 864,180	(101.8) 24,846	(102.7) 164,499	(110.0) 17,874	(98.5) 11,981	(105.8) 1,139,813
令和2年度	(97.8) 34,171	(80.5) 17,297	(99.4) 858,633	(94.6) 23,506	(99.5) 163,600	(89.6) 16,008	(105.6) 12,649	(98.8) 1,125,864

(注) () 内は、前年度対比 (%) を示す。

キ. 放射線撮影・治療・検査等照射回数

(単位：回、%)

年度 \ 項目	X線撮影	放射線治療	血管造影	C T撮影	M R撮影	R I検査	合計
平成30年度	(99.2) 78,264	(287.8) 11,489	(130.9) 178	(97.9) 17,290	(98.0) 24,477	(93.2) 1,334	(104.7) 133,032
令和元年度	(98.2) 76,860	(117.4) 13,492	(145.5) 259	(101.0) 17,464	(93.9) 22,973	(81.2) 1,083	(99.3) 132,131
令和2年度	(102.0) 78,374	(81.0) 10,926	(134.4) 348	(97.0) 16,935	(103.6) 23,790	(114.6) 1,241	(99.6) 131,614

(注) () 内は、前年度対比 (%) を示す。

ク. 内視鏡検査数・心臓カテーテル検査数

(単位：件、%)

年度 \ 項目	上部消化管内視鏡	食道静脈瘤硬化療法	胃ポリープ切除術	胃 E S D	内視鏡的止血	下部消化管内視鏡	大腸ポリープ切除術	大腸 E S D
平成 30 年度	(104.7) 2,299	(0.0) 2	(400.0) 4	(106.3) 51	(115.8) 44	(114.7) 1,291	(129.4) 220	(105.9) 18
令和元年度	(105.0) 2,414	(0.0) 0	(75.0) 3	(70.6) 36	(97.7) 43	(109.2) 1,410	(116.8) 257	(116.7) 21
令和 2 年度	(87.8) 2,120	(0.0) 0	(66.7) 2	(125.0) 45	(109.3) 47	(92.8) 1,308	(89.5) 230	(114.3) 24

年度 \ 項目	E R C P	E S T	P T C S	気管支ファイバースコピー	その他	合計
平成 30 年度	(111.4) 49	(84.3) 91	(0.0) 0	(112.0) 84	(111.4) 147	(108.8) 4,300
令和元年度	(83.7) 41	(103.3) 94	(0.0) 0	(94.0) 79	(98.0) 144	(105.6) 4,542
令和 2 年度	(180.5) 74	(77.7) 73	(0.0) 0	(101.3) 80	(93.8) 135	(91.1) 4,138

年度 \ 項目	心臓カテーテル
平成 30 年度	(100.0) 344
令和元年度	(125.0) 430
令和 2 年度	(82.8) 356

(注) () 内は、前年度対比 (%) を示す。

ケ. 調剤件数

(単位：件、日)

区分 年度	入 院			外 来			
	処 方 箋	調 剤 数	延 日 数	処 方 箋	調 剤 数	延 日 数	院外処方箋数
令和元年度	29,333	62,202	423,813	12,346	43,432	233,540	94,903
令和2年度	31,520	70,309	480,303	6,045	15,540	234,209	89,208
前 年 比	107.5 %	113.0 %	113.3 %	49.0 %	35.8 %	100.3 %	94.0 %

(注) 1. 外来部門の処方箋数、調剤数、延日数については、院内処方箋に基づくもの。

2. 令和元年12月電子カルテ更新により集計法が変更。

コ. 薬剤管理指導業務・抗悪性腫瘍薬調製件数

(単位：人、回、件、%)

区分 年度	薬 剤 管 理 指 導 業 務					抗悪性腫瘍薬調製件数	
	指 導 人 数	指 導 回 数	算 定 件 数	退院時管理	麻 薬 加 算	調 製 件 数	調 製 剤 数
令和元年度	5,503	8,323	7,370	129	284	2,113	3,182
令和2年度	5,347	9,133	7,758	655	396	2,046	3,232
前 年 比	97.2 %	109.7 %	105.3 %	507.8 %	139.4 %	96.8 %	101.6 %

サ. 医療社会事業相談件数

(単位：件、%)

年度 \ 項目	病院利用	療養問題	家庭問題	社会復帰	経済問題	その他	合計
平成30年度	(112.0) 2,122	(265.5) 2,132	(87.8) 36	(36.6) 70	(142.0) 71	(73.8) 418	(136.8) 4,849
令和元年度	(105.3) 2,234	(49.3) 1,050	(191.7) 69	(134.3) 94	(52.1) 37	(248.0) 1,037	(93.2) 4,521
令和2年度	(164.1) 3,666	(473.1) 4,968	(100.0) 69	(351.1) 330	(375.7) 139	(68.4) 709	(218.6) 9,881

(注) () 内は、対前年度対比 (%) を示す。

シ. 退院支援・がん相談件数 (単位：件、%)

年度 \ 項目	退院支援	がん相談
平成30年度	(142.7) 1,710	(104.8) 502
令和元年度	(97.0) 1,660	(114.1) 573
令和2年度	(82.8) 1,375	(53.6) 307

(注) () 内は、対前年度対比 (%) を示す。

ス. 給食件数

(単位:食)

区分 年度	一 般 食								
	常 食	軟 食	五・七分粥食	流動食	小児・幼児食	離乳食	ミルク食	その他	小 計
平成30年度	(100) 88,756	(95) 17,831	(105) 5,720	(147) 1,593	(111) 1,563	(167) 527	(87) 2,854	(76) 1,514	(99) 120,358
令和元年度	(81) 72,148	(112) 19,989	(94) 5,370	(134) 2,141	(93) 1,448	(72) 378	(69) 1,958	(153) 2,319	(88) 105,751
令和2年度	(91) 65,775	(68) 13,586	(82) 4,405	(73) 1,555	(24) 354	(24) 92	(79) 1,553	(124) 2,882	(85) 90,202

区分 年度	特 別 食 (加 算 対 象)											
	エネルギー コントロール食	塩 分 コントロール食	蛋 白 コントロール食	脂 質 コントロール食	胃潰瘍食	手術食	低残渣食	検査食	貧血食	経管栄養	その他	小 計
平成30年度	(85) 19,420	(113) 36,049	(86) 10,151	(77) 5,698	(68) 2,493	(93) 4,313	(66) 306	(106) 382	(16) 85	(0) 0	0	(94) 78,897
令和元年度	(125) 24,361	(105) 37,759	(98) 9,965	(127) 7,264	(129) 3,212	(94) 4,062	(153) 468	(119) 456	(631) 536	(0) 0	0	(112) 88,083
令和2年度	(70) 16,955	(91) 34,173	(98) 9,791	(79) 5,774	(78) 2,499	(91) 3,701	(33) 154	(86) 394	(35) 186	(0) 0	0	(84) 73,627

区分 年度	特 別 食 (加 算 対 象 外)									合 計
	塩 分 コントロール食	流動食	低残渣食	加熱食	経管栄養	嚥下食	その他	小 計	計	
平成30年度	(66) 12,690	(103) 1,550	(166) 499	(0) 0	(97) 16,409	(102) 36,324	(85) 1,617	(92) 69,089	(93) 147,986	(96) 268,344
令和元年度	(92) 11,689	(120) 1,860	(30) 148	(0) 0	(62) 10,196	(98) 35,759	(64) 1,029	(88) 60,681	(101) 148,764	(95) 254,515
令和2年度	(123) 14,353	(83) 1,535	(39) 57	(0) 0	(93) 9,485	(90) 32,304	(82) 839	(97) 58,573	(89) 132,200	(87) 222,402

(注) () 内は、前年度対比 (%) を示す。

セ. 栄養指導件数

(単位：人、%)

年度	個 別 指 導			集 団 指 導	糖 尿 病 透 析 予 防 指 導
	入 院 患 者	外 来 患 者	計		
平成 30 年度	(112) 903	(73) 295	(99) 1,198	(89) 225	(41) 12
令和 元 年 度	(120) 1,084	(148) 437	(127) 1,521	(126) 284	(258) 31
令和 2 年 度	(105) 1,145	(94) 409	(102) 1,554	(74) 210	(58) 18

(注) () 内は、対前年度対比 (%) を示す。

ソ. NST (栄養サポートチーム) 加算件数

年度	合 計	
平成 30 年度	(79) 880	
令和 元 年 度	(94) 828	(専従体制)
令和 2 年 度	(83) 689	(専任体制)

(注) () 内は、対前年度対比 (%) を示す。

(3) 診療点数調

ア. 診療科別点数

(単位：1000点、%)

診療科名	入外別	入 院			外 来			平成30年度合計		令和元年度合計		令和2年度合計	
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	点 数	構成比	点 数	構成比	点 数	構成比
内 科		212,697	228,869	206,504	83,914	86,664	78,262	(102.4) 296,610	42.0	(106.4) 315,532	44.7	(90.2) 284,766	42.8
脳神経内科		84	84	0	1,804	1,855	5,267	(100.8) 1,888	0.3	(102.7) 1,939	0.3	(271.6) 5,267	0.8
小 児 科		12,723	10,547	7,603	5,714	5,268	4,164	(98.3) 18,437	2.6	(85.8) 15,814	2.2	(74.4) 11,767	1.8
外 科		61,587	55,937	55,968	24,840	25,178	25,494	(102.9) 86,427	12.2	(93.9) 81,115	11.5	(100.4) 81,462	12.2
整形外科		89,960	81,983	79,182	13,084	12,719	12,237	(101.7) 103,044	14.6	(91.9) 94,703	13.4	(96.5) 91,418	13.7
形成外科		6,671	6,225	3,318	3,016	2,966	2,550	(96.2) 9,688	1.4	(94.9) 9,191	1.3	(63.8) 5,868	0.9
脳神経外科		39,201	30,469	33,122	7,784	7,628	7,716	(100.4) 46,985	6.7	(81.1) 38,098	5.4	(107.2) 40,838	6.1
皮 膚 科		98	73	0	3,385	3,278	2,619	(106.1) 3,483	0.5	(96.2) 3,351	0.5	(78.2) 2,619	0.4
泌尿器科		15,113	16,000	17,485	39,686	42,254	41,711	(93.9) 54,798	7.8	(106.3) 58,254	8.2	(101.6) 59,196	8.9
人工透析 (再掲)		3,163	1,839	32	27,716	28,243	26,615	(96.4) 30,879	4.4	(97.4) 30,083	4.3	(88.6) 26,647	4.0
産婦人科		31,107	32,168	29,376	5,480	7,090	7,397	(90.9) 36,587	5.2	(107.3) 39,258	5.6	(93.7) 36,773	5.5
眼 科		4,397	4,986	4,034	4,829	4,827	4,208	(107.0) 9,226	1.3	(106.4) 9,813	1.4	(84.0) 8,242	1.2
耳鼻咽喉科		18,830	17,398	18,416	14,103	15,631	14,091	(102.5) 32,933	4.7	(100.3) 33,029	4.7	(98.4) 32,507	4.9
放射線科		984	577	0	5,332	5,755	5,085	(126.3) 6,317	0.9	(100.2) 6,332	0.9	(80.3) 5,085	0.8
合 計		(98.8) 493,453	(98.4) 485,316	(93.8) 455,006	(106.1) 212,971	(103.8) 221,112	(95.3) 210,802	(100.9) 706,424	100.0	(100.0) 706,428	100.0	(94.2) 665,808	100.0

(注) 1.()内は、前年度対比(%)を示す。

2. 1,000点未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合がある。

イ. 診療行為別点数（外来）

（単位：1000点、％）

科名	項目		初診料	再診料	指導料	投薬料	注射料	処置料	手術料	検査料	X線料	その他	合計
	年度												
内科	平成30年度		1,774	3,885	10,246	5,418	20,728	84	1,900	24,464	12,851	2,564	(112.3) 83,914
	令和元年度		1,611	3,694	10,075	6,718	22,549	101	2,084	24,659	12,856	2,316	(103.3) 86,664
	令和2年度		1,289	3,330	9,195	6,494	18,028	132	2,080	23,723	11,796	2,195	(90.3) 78,262
脳神経内科	平成30年度		15	174	340	12	76	0	0	466	581	139	(101.2) 1,804
	令和元年度		12	194	371	8	81	1	0	369	636	182	(102.8) 1,855
	令和2年度		14	197	387	11	3,283	2	0	404	751	219	(284.0) 5,267
小児科	平成30年度		561	324	1,835	50	1,497	17	0	923	277	231	(83.2) 5,714
	令和元年度		577	308	1,684	55	1,253	25	0	859	275	231	(92.2) 5,268
	令和2年度		232	144	1,348	33	1,578	26	0	508	169	126	(79.0) 4,164
外科	平成30年度		219	671	1,071	1,055	12,627	37	115	3,276	5,446	323	(119.2) 24,840
	令和元年度		214	665	1,121	1,969	11,752	36	207	3,397	5,496	321	(101.4) 25,178
	令和2年度		221	640	1,221	1,691	12,535	41	129	3,309	5,374	334	(101.3) 25,494
整形外科	平成30年度		583	1,437	629	737	507	409	536	1,396	4,795	2,056	(107.3) 13,084
	令和元年度		554	1,426	548	744	501	407	539	1,367	4,732	1,902	(97.2) 12,719
	令和2年度		427	1,308	455	523	1,013	286	387	1,435	4,637	1,766	(96.2) 12,237
形成外科	平成30年度		309	319	210	55	11	105	932	515	423	135	(99.0) 3,016
	令和元年度		296	318	179	63	12	103	893	580	427	95	(98.3) 2,966
	令和2年度		219	256	180	44	13	88	790	477	383	99	(86.0) 2,550
脳神経外科	平成30年度		274	592	649	108	17	6	107	951	4,580	499	(99.0) 7,784
	令和元年度		255	596	585	92	14	3	125	971	4,417	570	(98.0) 7,628
	令和2年度		228	588	533	85	11	3	137	971	4,619	542	(101.1) 7,716
皮膚科	平成30年度		392	630	443	94	9	317	87	776	84	554	(106.6) 3,385
	令和元年度		372	614	439	118	99	298	91	647	75	524	(96.8) 3,278
	令和2年度		276	505	410	73	99	233	49	458	71	446	(79.9) 2,619
泌尿器科	平成30年度		202	1,371	3,260	937	3,582	24,187	289	3,087	2,348	424	(95.8) 39,686
	令和元年度		228	1,414	3,396	742	5,688	24,724	347	3,096	2,149	472	(106.5) 42,254
	令和2年度		192	1,384	3,540	736	6,976	23,113	418	2,910	1,966	477	(98.7) 41,711
人工透析(再掲)	平成30年度		0	710	1,740	887	2	23,964	38	170	167	37	(96.9) 27,716
	令和元年度		1	723	1,840	682	6	24,577	48	159	170	37	(101.9) 28,243
	令和2年度		0	699	1,920	665	19	22,934	37	132	169	39	(94.2) 26,615
産婦人科	平成30年度		294	546	192	24	414	248	37	2,972	545	209	(87.1) 5,480
	令和元年度		280	579	209	34	1,329	256	31	3,383	749	239	(129.4) 7,090
	令和2年度		288	572	270	17	1,252	142	26	3,701	886	243	(104.3) 7,397
眼科	平成30年度		118	507	46	59	4	2	327	3,219	102	445	(99.7) 4,829
	令和元年度		88	523	47	49	4	1	306	3,243	133	432	(100.0) 4,827
	令和2年度		92	463	51	32	2	1	138	2,942	95	392	(87.2) 4,208
耳鼻咽喉科	平成30年度		372	879	846	124	3,439	204	225	5,519	2,029	466	(102.9) 14,103
	令和元年度		412	905	1,032	134	4,237	181	234	5,875	2,142	479	(110.8) 15,631
	令和2年度		258	846	1,173	112	3,289	174	127	5,552	2,100	460	(90.1) 14,091
放射線科	平成30年度		128	151	154	0	0	0	0	94	1,377	3,429	(131.7) 5,332
	令和元年度		122	178	146	0	0	0	0	88	1,289	3,931	(107.9) 5,755
	令和2年度		95	169	131	0	0	0	0	65	1,000	3,625	(88.4) 5,085
合計	平成30年度	点数	(101.5) 5,240	(100.1) 11,486	(105.0) 19,920	(118.0) 8,672	(114.9) 42,910	(98.2) 25,618	(123.7) 4,555	(104.4) 47,659	(101.2) 35,439	(114.8) 11,473	(106.1) 212,971
		構成比	2.5	5.4	9.4	4.1	20.1	12.0	2.1	22.4	16.6	5.4	100.0
	令和元年度	点数	(95.8) 5,020	(99.4) 11,416	(99.6) 19,831	(123.7) 10,727	(110.7) 47,518	(102.0) 26,137	(106.7) 4,859	(101.8) 48,532	(99.8) 35,377	(101.9) 11,695	(103.8) 221,112
		構成比	2.3	5.2	9.0	4.9	21.5	11.8	2.2	21.9	16.0	5.3	100.0
	令和2年度	点数	(76.4) 3,833	(91.1) 10,400	(95.3) 18,893	(91.8) 9,850	(101.2) 48,080	(92.7) 24,239	(88.1) 4,281	(95.7) 46,455	(95.7) 33,846	(93.4) 10,925	(95.3) 210,802
		構成比	1.8	4.9	9.0	4.7	22.8	11.5	2.0	22.0	16.1	5.2	100.0

(注) 1. ()内は、前年度対比(%)を示す。
2. 1,000点未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合がある。

ウ. 診療行為別点数（入院）

（単位：1000点、％）

科名	項目		初診料	投薬料	注射料	処置料	手術料	検査料	X線料	入院料	給食料	その他	合計
	年度												
内科	平成30年度		375	4,755	13,139	3,291	24,371	11,193	8,397	131,846	8,079	7,252	(98.9) 212,697
	令和元年度		344	4,297	14,026	4,843	27,052	12,442	8,533	141,215	8,486	7,631	(107.6) 228,869
	令和2年度		296	4,121	13,288	5,757	22,691	11,749	8,355	126,340	6,916	6,990	(90.2) 206,504
脳神経内科	平成30年度		0	46	0	0	0	22	14	0	0	1	(93.0) 84
	令和元年度		0	68	0	0	0	12	4	0	0	0	(101.0) 84
	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0) 0
小児科	平成30年度		133	69	390	16	22	53	5	11,623	341	72	(107.1) 12,723
	令和元年度		153	84	321	21	25	80	13	9,509	255	87	(82.9) 10,547
	令和2年度		90	50	934	104	76	93	12	6,046	158	40	(72.1) 7,603
外科	平成30年度		47	351	3,146	584	27,738	2,549	1,678	23,705	1,081	707	(97.6) 61,587
	令和元年度		54	496	3,070	592	24,610	2,484	1,595	21,293	1,003	738	(90.8) 55,937
	令和2年度		56	387	4,073	725	23,430	2,502	1,879	21,039	928	947	(100.1) 55,968
整形外科	平成30年度		97	979	638	562	26,894	1,426	1,252	50,531	3,778	3,804	(100.9) 89,960
	令和元年度		83	826	540	504	25,880	1,542	1,357	44,385	3,287	3,578	(91.1) 81,983
	令和2年度		85	625	454	668	23,700	1,424	1,519	43,765	3,072	3,869	(96.6) 79,182
形成外科	平成30年度		20	81	60	261	2,702	187	67	2,894	227	173	(95.0) 6,671
	令和元年度		12	94	104	189	1,777	179	80	3,395	267	128	(93.3) 6,225
	令和2年度		6	13	72	44	1,439	58	17	1,530	91	50	(53.3) 3,318
脳神経外科	平成30年度		46	788	1,814	1,017	2,290	1,103	2,335	24,706	1,650	3,451	(100.7) 39,201
	令和元年度		48	543	1,412	699	2,758	847	1,835	18,844	1,117	2,365	(77.7) 30,469
	令和2年度		49	419	1,507	755	4,533	950	2,141	18,682	1,091	2,996	(108.7) 33,122
皮膚科	平成30年度		0	64	0	7	0	25	0	0	0	2	(91.4) 98
	令和元年度		0	51	0	2	0	20	0	0	0	0	(74.1) 73
	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0) 0
泌尿器科	平成30年度		10	325	582	3,067	2,520	768	185	7,036	445	177	(89.2) 15,113
	令和元年度		7	220	477	1,848	3,654	681	229	8,115	503	267	(105.9) 16,000
	令和2年度		16	240	887	195	3,212	724	371	10,696	599	545	(109.3) 17,485
人工透析(再掲)	平成30年度		0	2	68	3,017	0	56	7	10	1	3	(92.8) 3,163
	令和元年度		0	6	35	1,747	0	41	10	0	0	1	(58.2) 1,839
	令和2年度		0	1	0	8	0	3	0	18	1	1	(1.7) 32
産婦人科	平成30年度		12	209	1,956	72	5,629	1,482	145	19,853	1,321	430	(91.6) 31,107
	令和元年度		21	324	2,531	52	5,782	1,659	253	19,837	1,345	364	(103.4) 32,168
	令和2年度		16	278	1,906	123	5,132	1,556	310	18,447	1,139	468	(91.3) 29,376
眼科	平成30年度		0	75	0	5	2,530	100	2	1,608	51	27	(116.3) 4,397
	令和元年度		0	68	1	0	2,700	53	0	2,095	59	9	(113.4) 4,986
	令和2年度		0	41	0	0	2,216	0	0	1,733	44	0	(80.9) 4,034
耳鼻咽喉科	平成30年度		44	331	1,660	222	4,402	1,255	469	9,490	588	369	(102.2) 18,830
	令和元年度		57	220	1,361	149	4,256	1,210	526	8,795	493	331	(92.4) 17,398
	令和2年度		43	221	1,190	111	4,511	1,201	569	9,634	507	431	(105.9) 18,416
放射線科	平成30年度		0	0	0	0	0	1	65	0	0	918	(103.3) 984
	令和元年度		0	0	0	0	0	5	34	0	0	538	(58.6) 577
	令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0) 0
合計	平成30年度	点数	(97.6) 785	(98.6) 8,072	(81.9) 23,384	(93.0) 9,104	(105.4) 99,097	(101.2) 20,164	(98.0) 14,614	(98.6) 283,290	(95.2) 17,561	(98.4) 17,383	(98.8) 493,453
		構成比	0.2	1.6	4.7	1.8	20.1	4.1	3.0	57.4	3.6	3.5	100.0
	令和元年度	点数	(99.0) 778	(90.3) 7,291	(102.0) 23,844	(97.8) 8,900	(99.4) 98,496	(105.2) 21,214	(98.9) 14,459	(98.0) 277,483	(95.7) 16,814	(92.3) 16,036	(98.4) 485,316
		構成比	0.2	1.5	4.9	1.8	20.3	4.4	3.0	57.2	3.5	3.3	100.0
	令和2年度	点数	(84.5) 657	(87.7) 6,395	(102.0) 24,311	(95.3) 8,483	(92.3) 90,939	(95.5) 20,257	(104.9) 15,172	(92.9) 257,913	(86.5) 14,546	(101.9) 16,335	(93.8) 455,006
		構成比	0.1	1.4	5.3	1.9	20.0	4.5	3.3	56.7	3.2	3.6	100.0

(注) 1. ()内は 前年度対比(%)を示す。
 2. 1,000点未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. 平成22年度からDPC対象病院へ移行したことに伴い、点数は出来高算定した場合の点数に応じて包括算定点数を按分したものとなっている。

14. 経 営 概 要

収益的収入及び支出

(単位：千円、%)

項 目			令和2年度(A)		令和元年度(B)		平成30年度(C)		前年度 比較増減 (A)-(B)	対前年度比 (A)/(B)	
			決算額	対医業収益比	決算額	対医業収益比	決算額	対医業収益比			
収益的 収入	医 業 収 益	入院収益	4,436,306	65.2	4,887,466	66.4	4,924,203	67.3	△451,161	90.8	
		外来収益	2,142,763	31.5	2,216,210	30.1	2,121,076	29.0	△73,447	96.7	
		その他医業収益	222,091	3.3	252,487	3.4	266,310	3.6	△30,396	88.0	
		小 計	6,801,160	100.0	7,356,163	100.0	7,311,589	100.0	△555,003	92.5	
	医 業 外 収 益	医業外収益	1,977,814 (1,760,446)		1,359,198 (1,112,818)		1,119,750 (810,008)		618,616 647,628	145.5 158.2	
		(うち一般会計繰入)	1,066,693 (849,325)		1,063,173 (816,793)		781,660 (471,918)		3,520 32,532	100.3 104.0	
		特別利益	162,594		2,080		13,833		160,514	7,817	
		計	8,941,568 (8,724,200)		8,717,441 (8,471,061)		8,445,172 (8,135,430)		224,127 (253,139)	102.6 103.0	
	収益的 支出	医 業 費 用	給与費	4,858,947 (4,363,607)	71.4 64.2	5,132,774 (4,637,434)	69.8 63.0	4,980,440 (4,612,676)	68.1 63.1	△273,827 -(273,827)	94.7 94.1
			材料費	1,559,500	22.9	1,639,295	22.3	1,560,083	21.3	△79,795	95.1
(うち薬品費)			820,430	12.1	853,303	11.6	798,262	10.9	△32,873	96.1	
(うち診材費)			681,674	10.0	721,934	9.8	695,219	9.5	△40,260	94.4	
経 費			1,276,588	18.8	1,251,408	17.0	1,242,391	17.0	25,180	102.0	
減価償却費			520,122	7.6	401,207	5.5	457,995	6.3	118,915	129.6	
資産減耗費			25,719	0.4	47,181	0.6	42,000	0.6	△21,462	54.5	
研究研修費			43,266	0.6	53,010	0.7	53,192	0.7	△9,744	81.6	
小 計		8,284,142 (7,788,802)	121.8 114.5	8,524,875 (8,029,535)	115.9 109.2	8,336,101 (7,968,337)	114.0 109.0	△240,733 △240,733	97.2 97.0		
医業外費用		271,157		256,124		227,792		15,033	105.9		
特別損失	161,129		10,811		11,394		150,318	1490.4			
	計	8,716,428 (8,221,088)		8,791,810 (8,296,470)		8,575,287 (8,207,523)		△75,381 -(75,381)	99.1 99.1		
当年度損益			225,140		△74,369		△130,115		299,509	△302.7	
経常損益			223,675		△65,639		△132,554		289,314	△340.8	

(注) 1. 上表は会計決算の数値を用いている。

2. () 内の金額は、各年度同条件で比較するために、退職給付費、共済追加費用負担分を除いた金額である。

15. 主な経営財務分析表

項 目			算 式	単 位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総収益対総費用比率			$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}}$	%	102.6	99.2	98.5
医業収益対医業費用比率			$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}}$	〃	82.1	86.3	87.7
病 床 利 用 率			$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}}$	〃	75.7	80.5	78.9
患 者 数	1日平均患者数	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{診 療 日 数}}$	人	258.3	295.6	304.7
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診 療 日 数}}$	〃	662.8	743.5	756.9
	外来入院患者比率		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}}$	%	171.6	167.7	166.7
収 益	患者1人1日当り診療収益	入 院	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	円	47,063.1	45,171.5	44,274.8
		外 来	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年延外来患者数}}$	〃	13,248.8	12,217.1	11,437.9
	薬 品 使用効率	投薬薬品	$\frac{\text{投薬収入+薬価外}}{\text{投 薬 薬 品 費}}$	%	101.4	100.8	106.4
		注射薬品	$\frac{\text{注射収入+薬価外}}{\text{注 射 薬 品 費}}$	〃	109.7	105.8	104.1
費 用	対 医 業 収 益 比	給 与 費	$\frac{\text{給 与 費}}{\text{医 業 収 益}}$	〃	71.4	69.8	68.1
		材 料 費	$\frac{\text{材 料 費}}{\text{医 業 収 益}}$	〃	22.9	22.3	21.3
		う ち 薬 品 費	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{医 業 収 益}}$	〃	12.1	11.6	10.9
	患者1人1日当り薬品費		$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	円	3,204.9	2,946.5	2,690.8
	患者1人1日当り給食材料費		$\frac{\text{給 食 材 料 費}}{\text{年延入院患者数}}$	〃	544.2	535.1	547.1

16. 院内の会議・委員会一覧

令和3.4.1現在

項目	会議・委員会名	委員長	事務局	開催頻度	目的	備考
総括	管理運営会議 ※(兼)医師の役割分担推進会議	石山副院長	課長補佐(運営企画担当) ※副院長兼事務局長	毎月1回	病院運営に係る重要事項の審議決定 ※医師の負担軽減及び処遇改善に関する取組推進	1
	管理者連絡会 ※(兼)新型コロナウイルス感染症対策本部	院長	副院長(兼)事務局長	毎日	病院運営状況の把握、検討 ※新型コロナウイルス感染症の感染対策の決定	2
	企画会議	院長	課長補佐(運営企画担当)	毎月1回	病院運営に係る諸課題の検討	3
診療運営	衛生委員会	院長	庶務係長	毎月1回	職員の健康保持、職場環境の整備	4
	医師・診療科長会議	松本副院長	医事主査	毎月1回	診療運営に関する連絡調整と審議	5
医療安全	患者の声委員会	高山副院長(看)	主任社会福祉士	毎週1回	患者の声への対応検討	6
	医療安全管理対策委員会	石山副院長	医療安全管理専門員	毎月1回	医療安全体制確立のための調査審議	7
	医療事故調査会	石山副院長	医療安全管理専門員	随時	事故原因の調査、対応策の検討	8
	院内感染予防対策委員会	岸感染管理室長	感染対策主査	毎月1回	院内感染の予防対策の協議、検討	9
薬事	医療事故防止対策委員会	針生医療安全部長	医療安全管理専門員	週1回	医療安全防止対策の検討、研究、立案	10
	薬事委員会	宮本第一診療部長	薬剤専門員	1回/4月	薬事に関する審議	11
機材	医療機器等器械備品購入委員会	石山副院長	施設用度主査	年1回	医療機器の購入に関する審議	12
	診療材料選定審査会	椎名診療機材部長	施設用度主査	毎月1回	診療材料の選定	13
	医療機器等機種選定審査会	石山副院長	施設用度主査	随時	高額機械等の購入時の機種を審査選定	14
	器械備品等指名業者選定審査会	院長	施設用度主査	随時	機器備品等の指名業者選定に関する審議	15
倫理	倫理委員会	松本副院長	医療経営主幹	随時	診療に関する倫理問題の審議	16
	治験審査委員会	奥山放射線部長	薬剤部	随時	治験実施の妥当性の審議調査	17
	診療情報提供委員会	岡田医学資料部長	医事主査、情報企画主査	随時	診療情報提供の適否の審査	18
部	外來業務改善検討委員会	石山副院長	医事主査	随時	外來運営についての課題検討	19
	手術部会	神宮手術部長	看護部手術室師長	随時	手術部の運営に関する事項の審議	20
	集中治療室運営委員会	佐藤集中治療室長	看護部集中治療室師長	随時	I C Uの運営に関する事項の審議	21
	透析機器安全管理委員会	宮本透析室長	透析室	1回/4月	透析液の水質管理等に関する事項の審議	22
	栄養管理委員会	安達第二診療部長	栄養管理主査	随時	栄養管理室の運営に関する事項の審議	23
	検査部運営委員会	松本副院長	検査部技師長	2回/年	検査部の運営に関する事項の審議	24
	輸血委員会	椎名診療機材部長	検査部技師長	6回/年	輸血に関する諸問題の調整	25
	放射線部運営委員会	奥山放射線部長	放射線部技師長	年1回以上	放射線部の運営に関する事項の審議	26
	放射線安全委員会	奥山放射線部長	放射線部技師長	年1回以上	放射線障害防止の企画審議	27
	リハビリテーション室運営委員会	加藤リハビリテーション室長	リハビリ室技師長	随時	リハビリテーション室の運営に関する事項の審議	28
	診療録管理委員会	岡田医学資料部長	医事係、情報企画主査	随時	カルテ様式、保管及び病歴管理の検討	29
	地域医療部会	仁木地域医療部長	主任社会福祉士	随時	地域医療部の運営に関する事項の審議	30
	救急災害医療検討委員会	長瀬副院長	課長補佐(運営企画担当)	随時	救急医療に係る諸問題の検討	31
	医療情報部会	長瀬副院長	情報企画主査	随時	医療情報部会の運営に関する事項の審議	32
	臨床研修病院群研修管理委員会	院長	臨床研修係長	随時	臨床研修病院群全体の研修の管理運営	33
	医師臨床研修運営委員会	本間教育研修部長	臨床研修係長	随時	医師臨床研修の円滑な実施に向けた調整	34
がん対策	がん診療対策委員会	石山副院長	医事係	随時	がん診療対策の整備	35
	がん登録部会	長瀬副院長	医事係	随時	がん診療の向上	36
	がん化学療法部会	石山副院長	薬剤部、医事係	随時	がん化学療法の推進	37
	緩和ケアチーム部会	長瀬副院長	緩和ケア認定看護師、医事係	随時	緩和医療の推進	38
DPC	D P C委員会	石山副院長	医事係	随時	D P C運用の検討	39
	B S C委員会	石山副院長	経営主査	随時	B S Cの評価・点検	40
課題	保険診療・再審査請求検討委員会	松本副院長	医事係	毎月1回	保険診療請求、再審査請求に関する審議	41
	医療情報システム管理委員会	長瀬副院長	情報企画主査	随時	医療情報システムの運用・管理	42
	クリニカルパス委員会	石山副院長	医事係	随時	クリニカルパスの導入拡大の検討	43
	N S T・褥瘡対策委員会	安達第二診療部長	栄養管理主査	随時	褥瘡患者・低栄養患者治療等の効率的推進	44
	医師研究調査事業運営企画委員会	仁木医局長	庶務係長	随時	調査事業の運営企画	45
	研修委員会	堀内教育研修部副部長	臨床研修係長	随時	院内研究発表会の開催	46
	広報委員会	島貫第一診療部副部長	庶務係	随時	広報誌の発行、H Pの管理運営	47
	図書委員会	岡田医学資料部長	庶務係	随時	図書室の運営	48
	病院機能評価受審対策委員会	石山副院長	課長補佐(運営企画担当)	随時	病院機能評価受審	49
	病棟再編検討委員会		事務局次長	随時	各病棟への診療科の配置	50
別	第5病棟運営会議	篠村手術部副部長	課長補佐(運営企画担当) 第5病棟師長	随時	第5病棟の利用率向上	51
	新庄病院健康まつり実行委員会	仁木地域医療部長	課長補佐(運営企画担当)	随時	病院まつりの企画運営	52
	新庄病院改築整備に係る院内検討会	石山副院長	課長補佐(新病院整備企画担当)	随時	改築整備に向けた検討	53
	専門・認定看護師研究調査事業運営企画委員会	本間教育研修部長	総務主査	随時	調査事業の運営企画	54
	経営改善プロジェクトチーム会議	佐藤副院長(事)	課長補佐(運営企画担当)	毎月1回	経営改善プロジェクトの進捗管理・検討	55
	糖尿病サポートチームあじさい	堀内教育研修部副部長	糖尿病看護認定看護師	毎月1回	糖尿病、透析予防	56
	感染制御チームラウンド会議	岸感染管理室長	感染対策主査	週1回	院内感染の予防	57
	コンフリクト・マネジメント委員会	石山副院長	医療安全担当	月1回	患者や家族からの相談、クレーム等への対応協議	58

看護部内の委員会等を除く。

職員行動指針

1. 信頼され、選ばれる病院となるため、一人一人が研鑽に努めよう。
2. 医療の安全確保に、最大の努力をしよう。
3. 常に、患者さんの立場に立って行動しよう。
4. 地域とともに歩む病院を目指し、地域をよく知ることから始めよう。
5. 「やれない」のではなく、「どうしたらやれるか」を考えよう。
6. チームの一員としての自覚をもって行動しよう。
7. 安定した医療を提供し続けるため、経営健全化目標を達成しよう。

「仁」、「愛」、「和」の心をもって...